

## 第11回市民の皆さまとの意見交換会について

### 従来の意見交換会の実施方法

従来の意見交換会の実施方法は下記のとおりです。

- ① 対面式（議員と参加者が向かい合う）で実施。
- ② 第1部：予算（決算）、各常任委員会の審議内容を報告。
- ③ 第2部：テーマを決め、市の取り組みや現状について報告。
- ④ 第3部：自由な意見交換を実施。

### 意見交換会の課題

広報広聴委員会において、従来の意見交換会における課題を整理しました。

- ① 要望等の場になっている。
- ② 個人的な意見の演説の場になっている。
- ③ 参加者の固定化。
- ④ 行政が説明すべきことを議員が説明するのはおかしいとの指摘があった。
- ⑤ 女性・若年世代の参加者が少ない。



### 意見交換会の目的

上記課題をふまえ、広報広聴委員会で意見交換会を開催する目的を確認しました。

- ① 市民の皆さんから意見を幅広く伺うことにより、本市における課題について学び、議会内での議論につなげ、市政ならびに議会及び議員活動に活かしていく。
- ② 市民の皆さんに議会及び議員の活動について周知を行うとともに、理解を深めていただく。



## 意見交換会の内容

課題・目的をふまえ、広報広聴委員会で議論を重ね、第11回市民の皆さまとの意見交換会を下記のとおり実施します。

- ① 決算に関する報告会と、ワークショップ形式による意見交換会の2部制で実施。
- ② ワークショップはテーマに基づくワールドカフェ方式とする。(意見を集約するのではなく、様々な意見を共有するワークショップ。)
- ③ 基本的に議員はワークショップ(ワールドカフェ)の各テーブルに参加する。

テーマ(例)「次の世代につなぐ地域力」



若い世代の移住・定住・交流の促進や、子どもたちへの知識・伝統・地域力の継承について…ご意見ください。



## いただいた意見について

参加者から出された意見は、市政ならびに議会及び議員活動に活かすため、下記のとおり取り扱います。

- ① 意見を整理し、全議員に伝達する。(意見を全議員で共有)
- ② 意見の中から市政に反映できるものは反映していく。
- ③ 貴重なご意見は議会だより・議会ホームページ等で市民の皆さんにお知らせする。

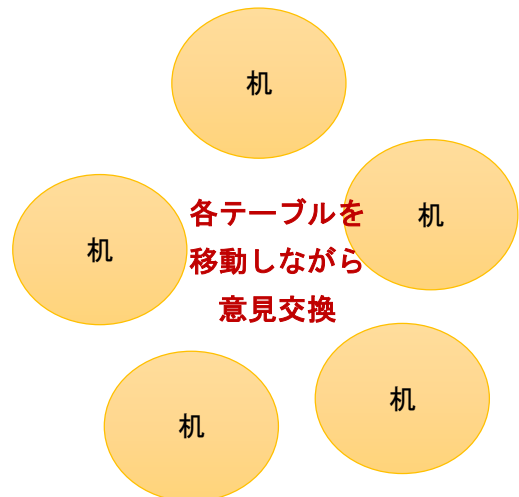
## ワールドカフェについて

ワールドカフェとは、一定時間ごとに参加者が各テーブルを移動しながら話し合うことで、いろいろなアイデア・ご意見を出し合っ、共有できる意見交換の場です。

- 1テーブルは6人程度まで、お茶なども飲みつつ、自由な会話を。
  - ・少人数なので話す時間と聞く時間のバランスがとりやすい。
  - ・議論のテーマはどのテーブルも同じ。
- テーブルごとに、模造紙を使用し、思っていることを自由に記入。
  - ・議論のなかで浮かんできた疑問やアイデアを自由に書き込む。
- テーブルを移動することで、参加者みなさんの意見を知ることができます。
  - ・15～20分程度の話し合いを3ラウンド行う。
  - ・ラウンドが変わるごとに1人（広報広聴委員）を残して全員が他のテーブルにそれぞれ移動。（他のテーブルの情報を共有できる）



全体で情報を共有。答えを出す事をゴールにした話し合いのやり方ではなく、オープンに会話をし、新しいアイデアや知識を生み出すのが目的。



## ワールドカフェの効果

### ①自分の意見を言いやすい

- 大人数の前で発言するよりも、少人数の方が発言しやすい。
- 参加者の距離が近く、話を聞いてもらいやすい環境のため、素の意見を言いやすい。

### ②相手との繋がりを意識できる

- ディベートのように否定される事はありません。
- 意見を否定されず、尊重されるのでより対話が活発になる。
- 相手の意見を聞き、繋がりを意識しながら自分の意見を伝えられるので場の一体感を感じられる。

### ③参加者全員の意見や知識が共有できる

- テーブルを移動するたびに、直接でなくても、先に議論をした人達の意見を知ることができる。
- テーブルでは少人数で話しているにもかかわらず、多くの人との意見交換や知識の共有ができる。